

# ミナミキイロアザミウマ防除を目的とした 施設キュウリの天敵利用技術マニュアル（10月～6月末）〈本ぽ版〉

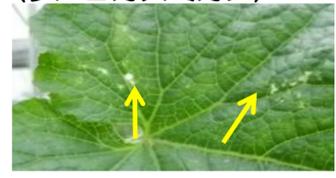
高知県  
(2016年8月作成)

- 2種類の天敵昆虫を用います（右写真）。
- タバコカスミカメは安定して効果を発揮するまでに2カ月程度かかるため、定着までのアザミウマ類、コナジラミ類対策として必ずスワルスキーカブリダニを使用します。
- 防除に成功するためには、これらの天敵をよく観察し、増え方を定期的に確認することがポイントです。

使用する天敵の特徴

	タバコカスミカメ	スワルスキーカブリダニ
成虫の大きさ	約4mm（肉眼で見える）	約0.3mm（ルーペが必要）
アザミウマの捕食量	2齢幼虫を1日あたり約150頭捕食	1齢幼虫を1日あたり5～6頭捕食
活動可能な温度・湿度	15～35℃（適温25～30℃）	15～35℃（適温28℃） 60%以上（高湿度を好む）
卵～成虫までの日数	25℃で25日、30℃17日	25℃で5～6日



時期	管理のしかた	天敵の確認のしかた	★注意点★																																				
定植時期 ～ 摘心後	<p>①クレオメを植える。 キュウリの定植時期に、<b>20本/10a</b>を目安に、ハウス谷部などの空いたスペースに定植する。</p> <p>②プリロソツ粒剤を処理する。 アザミウマ、コナジラミ、アブラムシ対策として、プリロソツ粒剤を定植前あるいは定植時にキュウリの株元に処理する。</p> <p>③スワルスキーとタバコカスミカメを放飼する。 (放飼時期) キュウリの<b>定植時</b>にスワルスキーとタバコカスミカメを両方放飼する。なお、タバコカスミカメはその後、複数回に分けて放飼し、11月までには終えるようにする。 (放飼量10aあたり) スワルスキー：1ボトル、 タバコカスミカメ：合計3,000頭以上</p> <p>(放飼方法) 〈定植時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●スワルスキー：キュウリ苗の入った段ボールの上から生長点付近に放飼する。スワルスキーは落ちないように、定植1時間前に放飼するほうがよい。</li> <li>●タバコカスミカメ：温存ハウスから刈り取ったゴマをキュウリ苗の上から振って落とす。落とし終わったゴマはキュウリの株元に置く。</li> </ul>	<p>〈スワルスキーカブリダニ〉</p>  <p>スワルスキーはキュウリ葉の裏の葉脈の間にいること</p> <p>ここをルーペで観察するとよい。放飼して2週間後、各株の数枚の葉裏を見て、1頭/葉以上確認できれば定着している。</p> <p>〈タバコカスミカメ〉</p>  <p>タバコカスミカメの定着具合は、キュウリの葉に食害がある株の増え方で確認する。</p>	<p>●本圃ではタバコカスミカメに影響のある粒剤は使用しない。 (別表参照)</p> <p>●摘心・摘葉した芯や葉は天敵がいるため野外に出さず、枯れ上がるまで、キュウリ株元に置くか、畝上の番線に引っかける。</p> <p>●タバコカスミカメは定植後もキュウリの葉に食害が見えるまで、7～10日のペースで追加放飼するとよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>温存ハウスで育てたゴマ1株につきタバコカスミカメ頭数目安</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(9月上旬)</td> <td style="text-align: center;">200～400頭</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(10月上旬)</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(10月中下旬)</td> <td style="text-align: center;">50頭</td> </tr> </table> </div>	(9月上旬)	200～400頭	(10月上旬)	100	(10月中下旬)	50頭																														
(9月上旬)	200～400頭																																						
(10月上旬)	100																																						
(10月中下旬)	50頭																																						
10月下旬 ～ 11月下旬	<p>④天敵が捕食できない害虫の防除 以下の害虫は天敵では十分に防除できないため、発見次第ただちに選択制殺虫剤で防除する。 発生の多い時期：10～11月、3～4月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハダニ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>倍率</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダニサラバフロアブル</td> <td>1,000倍</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>マイトコーネフロアブル</td> <td>1,000倍</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>  </li> <li>●ハスモンヨトウ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>倍率</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フェニックス顆粒水和剤</td> <td>2,000倍</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>プレバソフフロアブル5</td> <td>1,000～2,000倍</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>  </li> <li>●チャノホコリダニ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>倍率</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カネマイトフロアブル</td> <td>1,000～1,500倍</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スターマイトフロアブル</td> <td>2,000倍</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>  </li> <li>●アブラムシ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>農薬名</th> <th>倍率</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウララDF</td> <td>2,000～3,000倍</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ベネビアOD</td> <td>2,000倍</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>  </li> </ul>	農薬名	倍率	回数	ダニサラバフロアブル	1,000倍	2	マイトコーネフロアブル	1,000倍	1	農薬名	倍率	回数	フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	3	プレバソフフロアブル5	1,000～2,000倍	3	農薬名	倍率	回数	カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	1	スターマイトフロアブル	2,000倍	1	農薬名	倍率	回数	ウララDF	2,000～3,000倍	3	ベネビアOD	2,000倍	3	 <p>タバコカスミカメは花の中に入ることが多い。花を観察することで、増え方を確認できる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p>タバコカスミカメによる葉の食害がある株の割合 <b>10月下旬 ほ場全体の100%</b></p> </div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; background-color: #ffe6e6; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center; color: white;"><b>黄化えそ病対策</b></p> <p>感染株は必ず早急に抜きとる！ 感染してすぐに抜き取りができないと、感染拡大の原因となる。</p> </div>
農薬名	倍率	回数																																					
ダニサラバフロアブル	1,000倍	2																																					
マイトコーネフロアブル	1,000倍	1																																					
農薬名	倍率	回数																																					
フェニックス顆粒水和剤	2,000倍	3																																					
プレバソフフロアブル5	1,000～2,000倍	3																																					
農薬名	倍率	回数																																					
カネマイトフロアブル	1,000～1,500倍	1																																					
スターマイトフロアブル	2,000倍	1																																					
農薬名	倍率	回数																																					
ウララDF	2,000～3,000倍	3																																					
ベネビアOD	2,000倍	3																																					
12月	<p>クレオメは主枝を80～90cmの高さで摘芯する。定期的に伸びてきた側枝は切り取って、タバコカスミカメの少ない場所に置く。</p> 																																						
1月 ～ 4月	<p>⑥病害の予防 天敵を利用すると、殺虫剤の使用回数が減り、あわせて殺菌剤の使用回数も減ることがあるため、別表の農薬影響表を参考に10～14日間隔で予防散布を行う。</p>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #e6f2ff;"> <p>タバコカスミカメによる葉の食害がある株の割合 <b>1月下旬 ほ場全体の100%</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ほ場内にいるタバコカスミカメが増え、餌となるアザミウマが極端に減った後に、タバコカスミカメの吸汁による被害果が発生することがある。</li> <li>●毎日の収穫果実をよく見る。1日の収穫果のうち10本以上被害果がみえる場合は、JAまたは振興センター・普及所まで相談する。</li> </ul>																																				
5月 ～ 6月	<p>⑥タバコカスミカメ温存用のハウスを準備 詳細は別紙〈温存ハウス版〉を参照。</p> <p>⑦栽培終了時にハウス内10日間の蒸し込みを行う。 害虫とタバコカスミカメを野外に出さないようにする。</p>		<p>タバコカスミカメの吸汁による被害</p>																																				